



<赤ちゃん編>

・薬袋の指示は食後になっていても、授乳後は満腹で、お薬を飲まないことがあります。ミルクの前や空腹時に飲ませても構いません。服用回数が1日3回であれば、おおよそ朝、昼、夕に飲ませてあげてください。

注意① 薬をミルクに混ぜないで！！

ミルクの味が変わったり、ミルク嫌いになったりすることがあるので避けましょう。

注意② 1歳未満の子には「ハチミツ」は厳禁！！

腸内細菌叢が未熟なためハチミツなどボツリヌス菌に汚染されている食べ物を口にすると毒素が産生されて「乳児ボツリヌス症」を発症する危険があります。

「だんご法」

粉薬を少量の水などでペースト～泥状に練って、きれいに洗った指先につけ、上あご・ほほの内側や舌の奥(舌の先は苦みを強く感じるので避けた方がよい)に塗り、水などで流し込むように飲ませる。

<幼児編>

・味覚や好き嫌いが多様化し本人の意思が出てくる分、服用が難しくなってきます。基本的には、薬を他のものに混ぜず、水やぬるま湯で飲ませる習慣をつけさせると良いです。

どうしても嫌がるときは、ジュース、アイスクリーム、ヨーグルトなどと混ぜ合わせて、味覚を鈍くして飲みやすくする方法もあります。お子さんの好きなチョコレートやココア味は、混ぜると薬の味がほとんどなくなるようです。ただし、牛乳や酸味の強いジュース、スポーツドリンクなどに混ぜると、薬によっては、効き目がなくなったり、かえって苦みが増す間合いもあるので注意が必要です。

・原則的に薬は水やぬるま湯で飲むべきですが、お茶や牛乳と一緒に服用しても大丈夫です。



こういう物もあるので試してみるのも良いかもしれません。